



【ステップ相談の結果】

氏名：足立 咲茉さん 年齢：4歳4ヶ月
生年月日 ：令和3年3月10日
検査実施日：令和7年7月28日

新版K式発達検査2020を実施しました。以下の通り結果をご報告します。

	発達年齢	発達指数
姿勢・運動【運動面の発達】	3歳9ヶ月	85
認知・適応【目で見て判断する力や手先の動きの発達】	3歳3ヶ月	74
言語・社会【人と言葉でやりとりする力の発達】	3歳1ヶ月	70
全領域	3歳3ヶ月	74

発達年齢とは、実際の年齢ではなく、どれくらいの発達を歩んでいるかを表す値です。

発達指数とは、実際の年齢に対する値です。年齢相応の値を100とし、一般的に平均は80～119の範囲です。

〈検査時の様子など〉

お母さん、こども園の先生と同室で検査を受けました。始めは緊張気味でしたが、慣れてくると、道具をすぐ手に取ったり、説明の後「はい」と返事をしたりしていました。発音がやや不明瞭な言葉があり、質問を聞いて答える課題では、「え？」と言ってから答えていました。最後まで姿勢を崩さず、椅子に座ったまま取り組んでいました。

〈検査の結果〉と〈支援〉

- 獲得している力には、2歳3ヶ月～3歳6か月程度の幅があり、発達にばらつきが見られます。
- 同じ形を見つけることや、足りない部分を探すこと、折り紙を手本と同じように折ることなど、視覚的な情報を手がかりに行動することは比較的得意です。
- 聴覚的な情報の記憶は苦手で、話を聞く時には、集中できる環境で注意を向ける必要があります。
→言葉の数が増えると混乱しやすいようです。今は「りんご」「しかく」など、3音までの言葉が覚えやすいようです。
- 外部からの情報が入りにくく、視覚情報の一部を見て、早合点しやすいところがあります。触覚は強めの刺激の方が感じやすいようです。何でも口に持っていく行動も、触

覚刺激を求めている可能性があります。

→あまり大事ではない部分に注目してしまい、間違っただり方が定着しやすいため、初期の関わり方が重要です。視覚・聴覚・触覚を組み合わせた働きかけで、今注意を向けるべきことに気づかせる関わりが望めます。話しかける時には、手を握り、物を見せながら話すなど、いろいろな感覚に同時に働きかけて、大事な部分に注目しやすくするとよいかと思われます。

- 言葉の理解については、物の名前、よくおこなう動作など、具体的なものに関してはわかるものが多いですが、抽象的な概念（色や重さなど）の理解には時間がかかる傾向があります。

→確実にできること、わかることを繰り返し、成功体験を積み重ねることで自信につなげていくことが良いかと思われます。

- 集団活動では、他児とのペースに合わせる事が難しく、一人遊びを好む傾向にあるかと思われます。自分のものと他児のものとの区別が難しい場面もあり、集団生活でのルールの理解が育っている途中かと思われます。

→興味のあること、見てわかることは、人とのやりとりを楽しむ様子がみられます。また、ひざの上での遊びやハグなど、心地よい身体接触も好きなようです。咲菜さんの好きなことを通して、少しずつ「一緒にやる楽しさ」を感じられるよう、遊びに誘うと良いかと思われます。

- 運動面は、眼球や口の動きが硬く、力加減の調整が難しいようです。ただし、姿勢は安定しており、体格的な安定感が支えになっている可能性があります。

- 咲菜さんの興味に合わせて、楽しみながら、身体、目、口などの運動面の発達を促すため、療育を紹介させていただきました。

○次回は令和8年3月16日(月)10:00からステップ相談を予約しています。